

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

1506-03 呼吸器外科肺葉切除術後の肺再膨張の評価

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月～2020年1月に当院で肺切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究は呼吸器外科による肺葉切除術後のリハビリテーション効果を検証することを目的とする。呼吸器外科術後リハビリテーションの有効性についての報告は散見され、リハビリテーションを行うことでの術後肺合併症の予防や在院日数の短縮などのエビデンスは確立しているが、実際のリハビリテーションアプローチをいかにすべきかについての報告は乏しい。そこで、術前後のCT画像（DICOM RAWデータ）を3Dレンダリングにより解析し、術後残存肺の再膨張の評価を行うことで、急性期リハビリテーションの効果を検証し、症例に則した有効なリハビリテーションを確立したい。呼吸器外科医により周術期のCT撮影時に放射線部にDICOM RAWデータの採取を依頼していただき、まずは後ろ向きに肺の再膨張の傾向を調査する。今回の研究計画は、通常の診療に必要な検査を使ったものであり、リハビリテーションは通常通りの介入を行う。本研究によって、術後残存肺の再膨張の傾向を調査した後、前向きにリハビリテーション効果の検証に移行する予定である。

研究期間

2015年1月 ～ 2020年1月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

呼吸機能検査、CT画像（RAWデータ）、リハビリテーション記録、手術記録、身体所見。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター/昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター

研究責任者：齊藤 哲也

住所：227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2-1-1 電話番号：045-978-6631

